

VPcamp 手引き

獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業

【分野 1】

家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト教育プログラムの構築

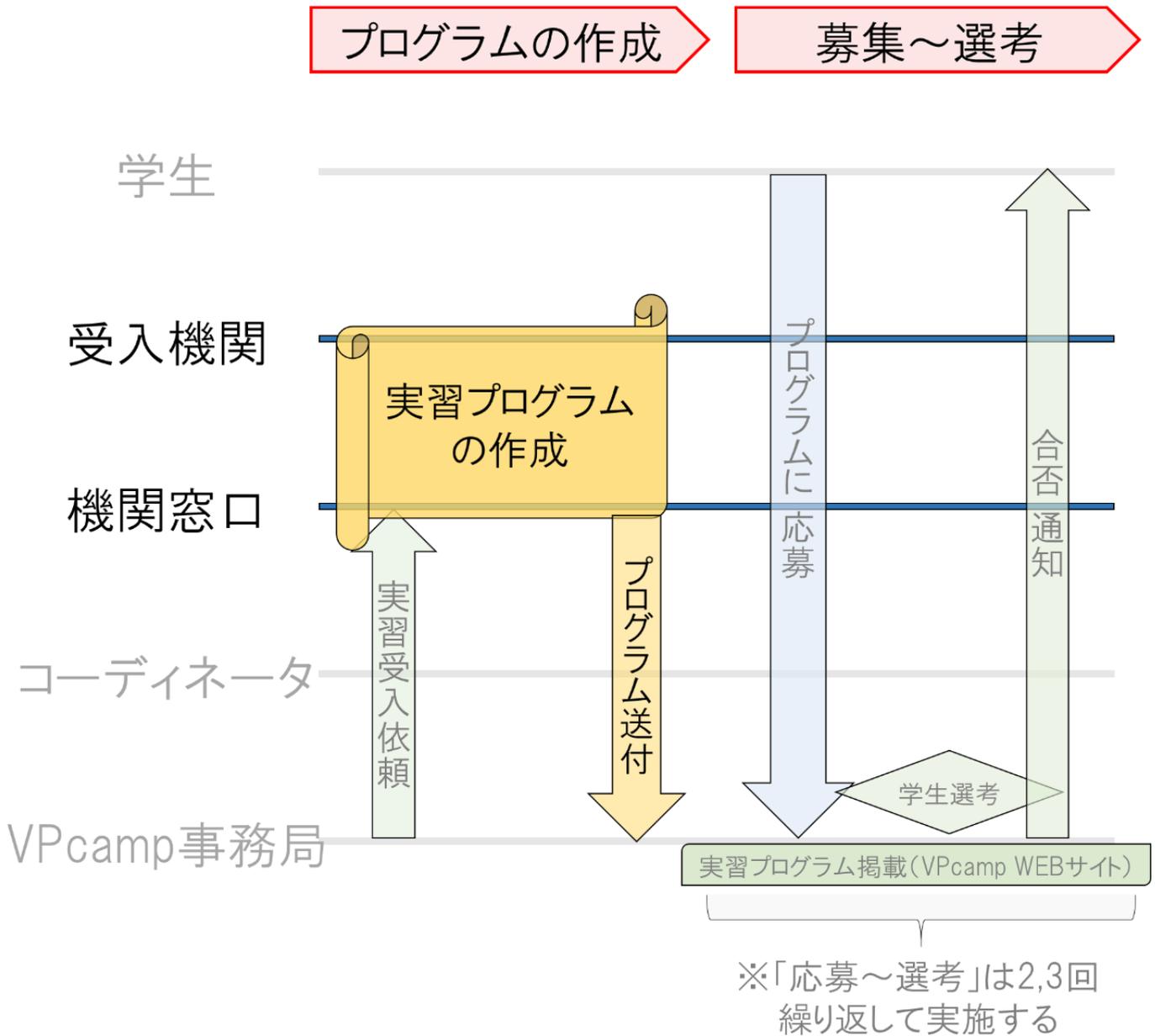
受入機関用

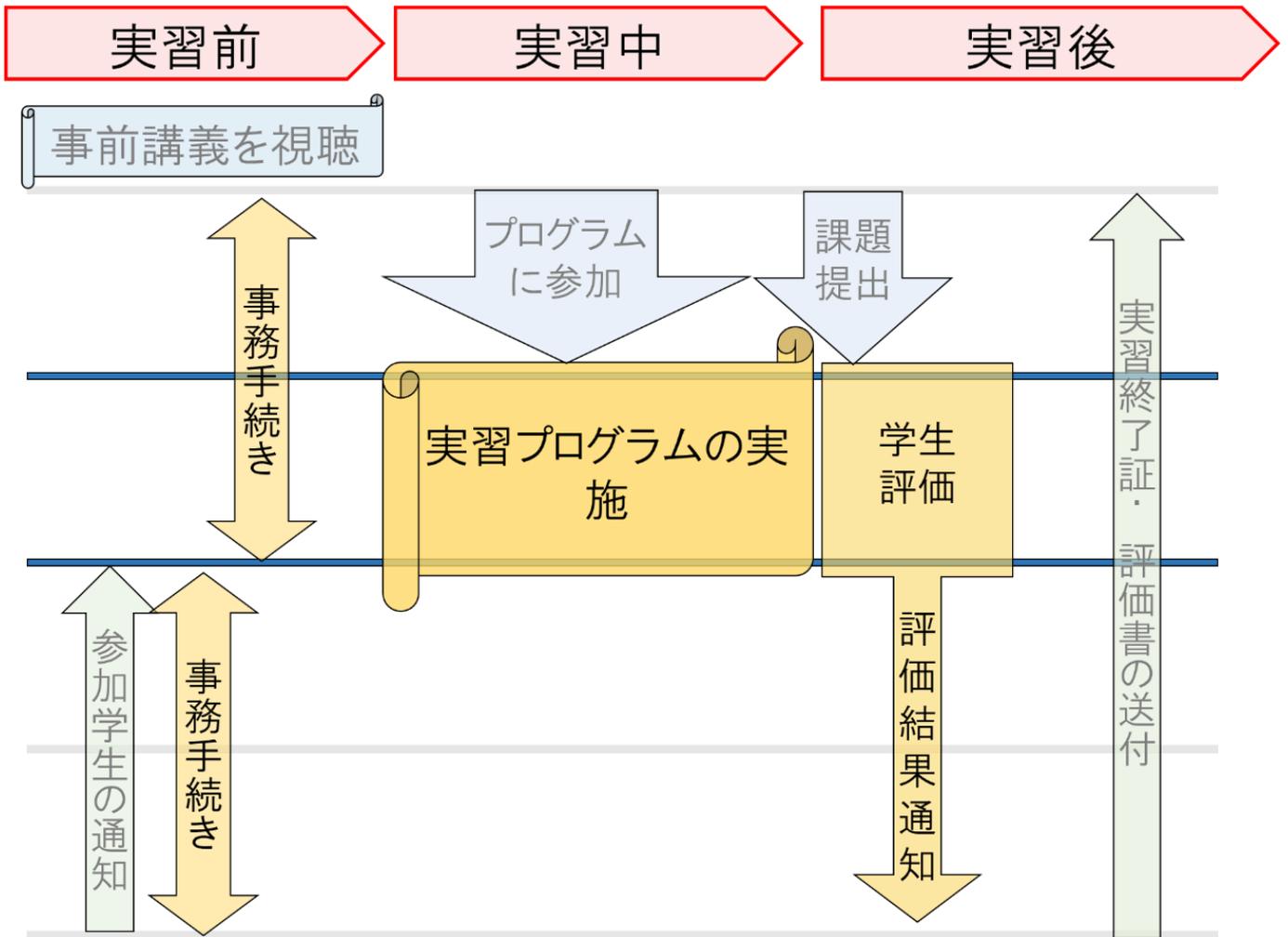
Ver.18.10

The logo for VPcamp, featuring the letters 'VP' in a stylized font above the word 'camp' in a lowercase, sans-serif font, all contained within a red square.

VP
camp

VPcamp 実習プログラムの運営の流れ (概略フロー図)





目 次

実習プログラムの作成	6
募集～選考	9
実習前	10
実習中	12
実習後	15
実習プログラム雛形	17
1. 実習目的	
2. 期間及び時期	
3. 実施場所	
4. 内容	
5. 実習プログラム例	
6. その他	
別表1 実習プログラムの例示	18
別表2 実習案	21
5日間コース	21
10日間コース（1施設重点型）	23
10日間コース（2施設重点型）	24
5日間コース（ワークショップリンク型）	24
事前講義プログラム	25
実習プログラムフォーム（入力の手引き）	27
消耗品提供について	31

資料

資料 1	覚書 (例)	32
資料 2	誓約書 (例)	34
資料 3	個別評価書	35
資料 4	VPcamp 日誌	36

H30 年度スケジュール予定	37
--------------------------	----

参考

参考 1	平成 29 年度「獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進 委託事業」(募集要項より抜粋)	38
参考 2	実施体制	39
参考 3	コーディネータなど メンバー表	40

STEP1 実習プログラムの作成

～VPcamp 事務局～

- 自治体等の家畜衛生・公衆衛生を担う機関に実習受入の依頼

～実習受入機関～

- 本事業における実習受入機関となることを組織としてご決定下さい。
- プログラム雛形 (p.17~24) を基に、実習プログラムを作成して下さい。
学生の参加条件、事前講義受講の有無、HP への掲載内容等を決定し、所定の「実習プログラム記入フォーム」を VPcamp 事務局に提出して下さい。
- 消耗品の支給を希望される場合は、「消耗品希望記入フォーム」を VPcamp 事務局に提出して下さい。

～VPcamp 事務局～

- 届いたプログラムを VPcamp WEB サイトに順次掲載

《実習プログラムの作成にあたってご注意いただきたいこと》

実習内容

実習プログラム雛形 (p.17~24)を参考に、自治体・機関の特徴を活かした実習プログラムを作成してください。内容は、見学・講習にとどまらず、ラボワークやフィールドワーク（業務帯同等）を含めたものとしてください。

実習内容にアドバンスト教育プログラムとなるパートが含まれている場合は、プログラムの紹介に際して特に「アドバンスト教育プログラム」として紹介させていただきます。(p.17 参照)

また、実習場所へのアクセス方法、学生の服装や持ち物等についても具体的に検討してください。本事業では実習生に対して旅費宿泊費賃借料等の経費を支給することはできませんので、ご承知おきください。

日程

大学の夏季・春季休業期間中で、5日間を基本に3～10日間で設定してください。
(単位認定も目標に参加する学生がいます。認定基準は各大学によりますが、5日以上の実習を基準とする大学が多いようです))

課題

学生には、“毎日日誌を書く”ことを課しています。貴自治体・機関のインターンシップとして、レポート課題等が義務付けられている場合は、この日誌の提出で代用が可能かご検討ください。(※実習後に別途レポートを課す場合は、提出させるレポート課題の設定を行ってください。)

人数

2～10人程度で設定してください。

参加条件

対象学年や履修科目、共用試験、英語能力、その他参加に必要な資格などを設定してください。

事前講義

学生が実習参加前に受講しておくべき事前講義プログラムを設定してください。

事前講義プログラム（リスト：p.25,26）

プログラムの中で、業務説明等の負担を軽減し、実習へのスムーズな導入を補助するツールとして、事前講義動画を用意しております。また、学生が事前に必要な知識を得た上で、実習に臨むことを推奨しております点からも、本講義動画のご活用をお願い致します。

学生が指定された講義を受講したことの確認として、各講義 5 題の小テストを課すシステムとなっています。

講義は WEB 受講で、1 コマ約 20 分です。

■ 講義動画プログラム URL <http://www.vetintern.jp/video/>

※動画視聴にはパスワードが必要です。パスワードは参加学生のみに通知し、実習期間ごとに変更しています。検討のために視聴をご希望の場合は、VPcamp 事務局にパスワードをお問合せ下さい。

消耗品

実習に使用する消耗品をご検討ください。学生一人当たりの予算を設定（上限 2 万円を予定）し、範囲内で提供します。ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。なお、消耗品の使用後の扱いについては実施機関にお任せ致します。ただし、学生に物品等を支給する（未使用の状態で譲渡する）ことはできません。

自治体・実習内容等の PR

学生に対し、実習地域やプログラムがイメージできるようにするため、写真や動画のご提供をお願いしております。実習の魅力をアピールするためにも、実習担当者の顔写真、実習風景などの写真、動画などがございましたら、事務局まで送付してください。また、実習タイトルや学生へのメッセージ等でもアピールを行ってください。その他に動画掲載等のご希望がございましたら、事務局までご相談ください。可能な限り対応致します。

STEP2 募集～選考

～VPcamp 事務局～

- 全国の獣医学生を対象に、ポスターやチラシ等を用いて実習の実施を告知
- 募集期間の設定／学生の募集
- 応募学生の選考
- 学生へ選考結果を通知

～VPcamp コーディネータ（各獣医大学の教員で構成）～

- 事務局とともに、学生の選考を実施

～実習受入機関～

- 事務局とコーディネータによる参加学生の選考結果をお待ちください。
(最長で3次に分けて募集を行い、決定した学生の情報をお知らせします。)

～学生～

- 参加希望プログラム（実習先）を決定
- 募集期間中に実習プログラムへWEB上から応募
- 選考で合格→実習準備を実施（次項参照）
- 選考で不合格→次の募集に再応募が可能

学生募集について

応募システムの都合上、学生は1回の募集で1箇所には応募できません。
選考に漏れた学生のため、募集を3次まで設定しています。

学生選考について

学生の選考は、受入機関からの要望や、参加動機、学年、大学間のバランス等を参考に、事務局とコーディネータが行います。選考にあたって「地元出身者を優先する」等の要望がある場合は、実習プログラム提出時に「選考の際の優先事項」としてお知らせください。

STEP3 実習前

～VPcamp 事務局～

- 参加学生情報を、実習受入機関に送付
- 参加学生に傷害保険と賠償責任保険への加入証明書の提出を指示／確認
- 参加学生の緊急連絡先等を、実習受入機関に送付
- 実習機関との実習受入に必要な手続き（覚書の締結等）を実施
- 参加学生に対する実習中の注意点・課題等の再確認

～実習受入機関～

- VPcamp 事務局から、参加学生情報を受け取って下さい。
※緊急時連絡先は、取りまとめの上、あらためて報告共有します。
- 参加学生へ直接連絡を取り、実習内容の詳細・担当者の連絡先・宿泊施設案内等を伝えて下さい。（VPcamp 事務局へも共有をお願いします。）
- 参加学生との間で、受入機関別に必要な手続き（誓約書や履歴書の送付等）がある場合は、随時やり取りを行って下さい。
- VPcamp 事務局との間で、実習受入に必要な手続き（覚書の締結等）を行って下さい。
- やむを得ず実習プログラムに大幅な変更を行う場合（日程の短縮、内容の大幅な変更など）は、直ちに学生へ連絡し、変更について了解を得て下さい。事務局へもその旨、ご連絡下さい。

～参加学生～

- 実習受入機関より実習詳細の受け取り
- 保険加入証明書、緊急連絡先（親族・大学関係者）を VPcamp 事務局に提出
- 実習参加に必要な手続きの実施（誓約書・履歴書等）
- 実習受入機関の担当者と連絡を取り合い、疑問点等の解消に努める
- 実習受入機関から指定された事前講義プログラムを受講

～実習受入機関～

- 参加学生に対し、改めて実習実施時の注意点等の確認を行って下さい。

実習中の保険加入について

参加学生は傷害保険と賠償責任保険への加入が義務となっています。それ以外の保険への加入が必要な場合は、実習プログラム提出時に「加入すべき保険」の欄に明記して下さい。

STEP4 実習中

～実習受入機関～

- 実習プログラムに沿って実習を実施して下さい。
- 実習プログラムの冒頭にはオリエンテーションの実施をお願いします。
- 実習終了時、学生に日誌、課題（レポート等）の提出を指示して下さい。
（※提出期限：目安は1週間以内 提出先：実習受入機関）
- やむを得ず実習プログラムに大幅な変更を行う場合（日程の短縮、内容の大幅な変更など）は、変更点に関して学生の同意を取り、代替のプログラムをご準備下さい。また、VPcamp 事務局にも変更の旨をご連絡下さい。

※実習プログラム変更に伴うキャンセル料等の金銭的負担の発生について、本事業は費用弁償できませんので、あらかじめご了承ください。

（例）「日程の短縮」を行ったため、学生がすでに予約していた宿泊施設のキャンセル料が発生した。

～学生～

- 実習初日、指定された場所に集合し、オリエンテーション受講
- 担当者の指示に従い、プログラムに参加
- 実習日誌作成

オリエンテーション

実習プログラムの冒頭にはオリエンテーションを実施し、以下の内容を確認・説明して下さい。

- ✓ 誓約書の内容の徹底
- ✓ その他の注意事項（喫煙場所・時間、立ち入り禁止場所など）の説明
- ✓ プログラムの全体構成および毎日の時間割の説明
- ✓ 指導員、その他関係者の紹介
- ✓ 参加学生の自己紹介
- ✓ 実習機関の概要についての説明
- ✓ 実習に参加する際の服装
- ✓ 昼食場所などについての情報提供
- ✓ 実習で使う場所・施設の案内

緊急時の対応について

○学生の傷病対応

事故やけがの発生時には、全ての緊急連絡先に連絡するとともに、VPcamp 事務局へも連絡をお願いします。

○災害発生時の対応について（実習の中断等）

災害等の発生に伴い、実習の継続が困難となった場合は、学生の安全を第一に対応のご決定をお願い致します。実習期間の短縮、中断、再開等のスケジュールは、学生と合意を図ると共に、VPcamp 事務局へもご報告をお願いします。

※各大学の規程により、単位認定には、5 日以上の実習参加が義務付けられている場合がございます。緊急対応により、実習期間が短縮する場合、原則として単位取得に関わる大学への事情説明や補填方法の交渉は、学生自身に委ねてください。事実確認その他が必要な場合は、VPcamp 事務局にてサポートを行います。学生から何らかの要望が出た場合は、VPcamp 事務局に連絡を取るよう指示をお願いします。

実習日誌(p.36)

参加学生は毎日、実習日誌をつけることが課されています。

日誌は実習終了後に学生から回収し、VPcamp 事務局に送付（スキャンデータをメールで、またはコピーを郵送）をお願いします。

また学生の評価にも是非利用下さい。

日誌は事務局で確認した後、一部を WEB 上で公開する可能性があります。公開する際には、前もって公開内容を実習受入機関にご相談致します。

実習風景の写真撮影のお願い

事業の報告や広報に使用するため、実習中の風景や集合写真等の提供をお願いしております。可能な限りで結構ですので、多くの写真を撮影していただけると大変助かります。

ご提供にあたっては、学生の写真掲載承諾を得た上で、掲載可能と判断されたものをお送り頂きますよう、お願い致します。

STEP5 実習後

～学生～

- 日誌・レポート等の課題提出
- 「実習後アンケート（学生用）」の回答（※HP 上より）
- 実習修了証と個別評価書の受け取り
（※VPcamp 事務局より、実習終了 3 ヶ月以内に各大学へ送付）
- 必要に応じて単位申請
※原則として単位申請には、VPcamp 事務局が発行する修了証、評価書を利用。受入機関へ、個別の書類作成依頼は控えることとしている。

～実習受入機関～

- 実習終了 1 週間を目処に、学生から日誌、レポート等の課題の回収を行い、学生の評価にご活用頂いた後、VPcamp 事務局へご送付下さい。
（スキャンファイルをメールで送付、もしくは、原本のコピーを郵送）
- 提出課題等も参考に、学生の評価を行い（WEB から学生評価シートをダウンロードして書き込み）、事務局へメールまたは郵送して下さい。
- 「実習後アンケート（受入機関用）」への回答をお願いします（※HP 上より）
- 実習中の風景等の公開可能な写真があれば、事務局へご提供下さい。
- 実習参加学生の態度や気づいた点などは、アンケートにご記入いただく他、メール等でも VPcamp 事務局にお知らせ下さい。

～VPcamp 事務局～

- 「個別評価書」を作成（受入機関の学生評価を基とする）
- 「実習修了証」と「個別評価書」の送付（各大学宛）

学生評価について

実習に参加した学生の評価を、受入機関各位にお願いしております。ご協力をお願い致します。評価書の様式は HP 上からダウンロードして下さい。(本評価は、学生の単位認定に使用される場合がございます。)

評価項目は以下の通りです。

- ✓ 出席日数 (欠席、遅刻、早退日数)
- ✓ 日誌／レポート提出 (有・無)
- ✓ 日誌／レポートの内容評価 (A 優れている・B やや優れている・C 普通・D 劣っている・E 未提出)
- ✓ 実習中の態度 (A 良くできた・B 普通・C あまりできなかった)
- ✓ 実習内容の理解 (A 良くできた・B 普通・C あまりできなかった)
- ✓ 業務中の行動適応 (A 良くできた・B 普通・C あまりできなかった)
- ✓ 意欲的姿勢 (A 良くできた・B 普通・C あまりできなかった)
- ✓ 上記項目についての特記事項
- ✓ その他学生へのメッセージ

WEB アンケート

より円滑な運営システムを作成するため、実習受入機関にアンケートへの回答をお願いしております。ご協力をお願いします。

評価項目は以下の通りです。

- ✓ 受入人数
- ✓ 参加人数の適正
- ✓ 参加学生の基礎知識の適正
- ✓ 今後の実習参加学生に必要な事前講義
- ✓ 実習を通じた、知識の習得・実務経験の獲得
- ✓ 実習を通じた、就職先としての関心増大
- ✓ 実習実施の負担の適正
- ✓ 職場や職員の活性化
- ✓ 緊急連絡先の使用の有無
- ✓ 実施した実習プログラムの良い点・悪い点
- ✓ 実習先からの声 (ホームページに掲載)

実習プログラム雛形

1. 実習目的

家畜衛生・公衆衛生行政を担う家畜保健衛生所、保健所、と畜場、食鳥処理場、動物愛護センター、衛生研究所などにおいて、**現場における家畜衛生・公衆衛生分野の幅広い実務経験の獲得と、高度で実践的な専門知識・技術を習得する。食品安全・感染症管理・動物福祉のいずれかまたは2つ以上の分野の、体系的な実務経験を獲得するものとします。**

2. 期間および時期

- 5日間を基本に、3～10日間で設定（土日曜・祝日は除く）
- 大学の夏期（8-9月）、春期（2-3月）休業期間に実施（一部プログラムを除く）

3. 実施場所

家畜保健衛生所、保健所、と畜場、食鳥処理場、動物愛護センター、衛生研究所、家畜衛生試験場、本庁など地方公共団体及び国等の機関において行政獣医事を担う施設において実施。ラボワークまたはフィールドワーク実習は、1施設以上で行ってください。

4. 内容

単に見学、講義にとどまらず、ラボワークまたはフィールドワークを含めるものとします。（内容例は別表1参照）

内容例のうち、OIEの定義する「Day 1 Skill」の「advanced skill」に該当する等のプログラムが含まれる場合は、「アドバンスト教育プログラム」と位置づけ、別途「★」を付けて示しています。実施可能であれば積極的に採用してください。

5. 実習プログラム例

別表2参照。

6. その他

VPcamp事務局主催により、学生を対象としたワークショップも開催しています。このワークショップへの参加と、受入機関での実習を組み合わせたプログラムも設定可能です。ワークショップと実習の期間は離れていても構いません。

別表 1

この表は、主に地方自治体による実習プログラムの例です。これらの内容を必須とするものではなく、例示以外のプログラムの実施を妨げるものではありません。各受入機関独自の魅力的な実習プログラムを歓迎します。

例のうち、OIE の定義する「Day 1 Skill」の「advanced skill」に該当する等のプログラムが含まれる場合は、「アドバンスト教育プログラム」と位置づけ、別途「★」を付けて示しています。可能であれば、積極的に提案・実施をお願いします。

● 家畜保健衛生所

1. 防疫対策演習（鳥インフルエンザ・口蹄疫が発生したときのシミュレーション等）への参加★
2. 病理検査の帯同・体験実習
3. ウイルス検査の帯同・体験実習
4. 生化学検査の帯同・体験実習
5. 細菌検査の帯同・体験実習
6. BSE 検査の体験実習

● 保健所

1. 食品衛生に係る業務の実習
 - 食中毒、食品衛生に関する相談の受付・調査の帯同実習
 - 食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査の帯同実習
 - HACCP 手法に沿った食品事業者の衛生管理指導の帯同実習★
 - 重大事案等緊急時の対応演習への参加★
 - 食品安全に係るリスクコミュニケーションの実施・運営への参加★
2. 生活衛生に係る業務の実習
 - 理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場の監視指導の帯同実習
 - 水道、河川、井戸等の水質検査の帯同・体験実習

3. 感染症にかかる業務の実習
4. 薬事監視に係る業務の実習

● と畜場・食鳥処理場

1. 生体検査の帯同実習
2. 解体前検査の帯同実習
3. 解体後検査の帯同実習（頭部検査、内臓検査、枝肉検査の帯同実習）
4. と畜場における HACCP の実施体験実習★
5. 放射線物質検査の体験実習
6. 理化学検査の体験実習
7. 微生物検査の体験実習

● 動物愛護センター

1. 動物の保護と管理に関わる業務の実習
動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分の帯同・体験実習
2. 動物愛護精神と適正飼養の普及啓発に関わる業務の帯同実習
動物教室・イベント・講習会の開催・運営への参加
動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習

● 衛生研究所、畜産試験場等

1. 感染症（家畜伝染病または人獣共通感染症）疫学に関わる業務の実習
発生の認知、対応体制の整備、採材、検査、検査結果の確認、情報の公表、蔓延防止措置等一連の対策への帯同実習★（部分的でも★）、またはシミュレーション演習への参加★
2. 臨床微生物に関わる業務の実習
3. ウイルスに関わる業務の実習
4. 食品微生物に関わる業務の実習
5. 生体影響に関わる業務の実習
6. 薬品に関する業務の実習

7. 水・食品にかかわる検査業務の実習
8. 農場 HACCP 手法による農場衛生管理業務の実習★
9. 家畜のハードヘルスマネジメントの手法の普及啓発・指導業務の帯同実習★

● 本庁

1. 所管域内の家畜衛生・公衆衛生情勢の講義
2. 都道府県市条例とその背景についての講義
3. 職員獣医師の活動についての紹介
4. 家畜伝染病または人獣共通感染症にかかる防疫施策の図上演習の帯同実習★
5. リスクベースの感染症管理施策策定に係る会議への陪席
6. 条例等の策定実習★

● 動物園等

1. 展示動物に係る動物福祉についての講義
2. 飼育動物の健康管理と周辺・来園者に対する防疫体制についての講義
3. 飼育動物・保護動物の健診・治療の帯同実習
4. 来園者に対する動物愛護啓発活動への参加

別表2

5日間コース

実習案1 (5日間の家畜保健衛生所を主体とするプログラム)

	午前		午後	
1日目	オリエンテーション	業務説明	防疫実習 (鳥インフルエンザ防疫のシミュレーション)	
2日目	防疫実習 (口蹄疫防疫のシミュレーション)		病理検査の体験実習	
3日目	ウイルス検査の体験実習		生化学検査の体験実習	
4日目	細菌検査の体験実習		BSE 検査の体験実習	
5日目	他施設の見学		他施設の見学	

実習案2 (5日間のと畜場を主体とするプログラム)

	午前		午後	
1日目	オリエンテーション	業務説明	と畜検査の講義	
2日目	生体検査の帯同実習		解体前検査の帯同実習	
3日目	頭部検査の帯同実習	内臓検査の帯同実習	枝肉検査の帯同実習	と畜場における HACCP 実施体験実習
4日目	理化学検査の帯同実習		微生物学検査の帯同実習	
5日目	他施設の見学		他施設の見学	

実習案3 (5日間の動物愛護センターを主体とするプログラム)

	午前		午後	
1日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)	
2日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習			
3日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習)	
4日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベントへの参加、講習会)			
5日目	他施設の見学		他施設の見学	

実習案4 (5日間の保健所を主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	食品衛生に関する帯同実習 (食中毒、食品衛生に関する相談の 受付調査)
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	生活衛生に関する帯同実習 (理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場監視指導)		
4日目	生活衛生に関する帯同・体験実習 (水道、河川、井戸等の水質検査)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案5 (5日間の保健所と動物愛護センターを主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	保健所業務説明	食品衛生に関する帯同実習 (食中毒、食品衛生に関する相談の 受付・調査)
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	動物愛護センター業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習	動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習
4日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベントへの参加、講習会)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案6 (5日間の家畜保健衛生所と保健所を主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	家畜保健衛生所業務説明	病理検査の体験実習
2日目	ウイルス検査の体験実習		生化学検査の体験実習
3日目	保健所業務説明	食品衛生に関する帯同実習 (食中毒、食品衛生に関する相談の 受付・調査)	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、 抜き取り検査)
4日目	食品衛生に関する帯同実習 (HACCP手法に沿った食品事業者の衛生管理指導)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

10日間コース（1施設重点型）

実習案7（10日間のと畜場を主体とするプログラム）

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	と畜検査の講義
2日目	生体検査の帯同実習		
3日目	解体前検査の帯同実習		
4日目	頭部検査実習の帯同実習		
5日目	内臓検査実習の帯同実習		
6日目	枝肉検査実習の帯同実習		
7日目	と畜場における HACCP の実施体験実習		放射性物質検査の体験実習
8日目	BSE 検査の体験実習	理化学的検査の体験実習	微生物学的検査の体験実習
9日目	他施設の見学		他施設の見学
10日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案8（10日間の動物愛護センターを主体とするプログラム）

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習 （動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分）
2日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
3日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
4日目	他施設の見学		他施設の見学
5日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 （動物教室、イベントの準備・打合せ）		
6日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 （動物教室、イベント、講習会の運営・参加）		
7日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 （動物教室、イベント、講習会の運営・参加）		
8日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
9日目	動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習		
10日目	他施設の見学		他施設の見学

10日間コース（2施設重点型）

実習案9（10日間の保健所と動物愛護センターを主体とするプログラム）

保健所			
	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	食品衛生に関する帯同実習 (食中毒、食品衛生に関する相談の受付調査)
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	生活衛生に関する帯同実習 (理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場監視指導)		
4日目	生活衛生に関する帯同・体験実習 (水道、河川、井戸等の水質検査)		
動物愛護センター			
5日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)
6日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)		
7日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベント、講習会への参加)		
8日目	動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習		
9日目	他施設の見学		他施設の見学
10日目	他施設の見学		他施設の見学

5日間コース（ワークショップリンク型）

実習案10（ワークショップ参加と衛生研究所実習を主体とするプログラム）

	午前		午後
1日目	※VPcamp 事務局主催ワークショップに参加		
2日目			
3日目	当自治体オリエンテーション	衛生研究所業務説明	病理検査の体験実習
4日目	ウイルス検査の体験実習		生化学検査の体験実習
5日目	他施設の見学		他施設の見学

事前講義プログラム

本事業では、参加学生に、実習参加前に参加者必修講義及び実習に関連する内容の講義を受け、必要な知識を得てから実習に参加することを求めています。講義は1コマ約20分で、WEB上で受講してもらいます。現在、下表のライブラリがあり、必要に応じて随時追加・更新しています。

■事前講義プログラム <http://www.vetintern.jp/video/> *視聴にはパスワードが必要です。

事前講義[H30.09.18現在]			
講義タイトル	講師	収録年	講義数
0.参加者必修講義			1
VPcamp参加にあたって～実習を受ける際の心得～実習チェックリスト	東京大学 杉浦勝明	28	
1.獣医公衆衛生行政・法規			15
1-1 公衆衛生と獣医師	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26	
1-2 獣医公衆衛生行政の仕組み	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26	
1-3 公衆衛生行政のための法律 総論 I (食品衛生法、と畜場法、食鳥検査)	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26	
1-4 公衆衛生行政のための法律 総論 II (感染症法)	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26	
1-5 日本の食品安全行政のしくみ	内閣府 食品安全委員会 小財恵	26	
1-6 食品安全のリスク評価について	内閣府 食品安全委員会 松下茜	26	
1-7 保健所・食肉衛生検査所の業務内容	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26	
1-8 食品衛生監視員の役割	東京家政大学 森田幸雄	26	
1-9 と畜検査員の役割およびと畜処理	東京家政大学 森田幸雄	26	
1-10 と畜場で全部廃棄・部分廃棄になる疾病	東京家政大学 森田幸雄	26	
1-11 動物愛護管理行政について	環境省 川越匡洋	30	更新
1-12 狂犬病予防業務 動物愛護管理業務について	東京都 動物愛護相談センター 新井英人	27	
1-13 「食鳥検査」について	宮崎県 福祉保健部衛生管理課 下村高司	27	
1-14 食鳥処理場における衛生管理 (HACCPを含む)	宮崎県 福祉保健部衛生管理課 下村高司	27	
1-15 HACCPシステムとその特長	国立保健医療科学院 温泉川肇彦	29	
2.家畜衛生行政・法規			10
2-1 最近の家畜衛生をめぐる情勢について (国内防疫 I)	農林水産省 石川清康	28	
2-2 最近の家畜衛生をめぐる情勢について (国内防疫 II)	農林水産省 石川清康	28	
2-3 家畜衛生行政 動物検疫 (輸出入検疫)	農林水産省 伏見啓二	27	
2-4 動物薬事行政 I	麻布大学 平山紀夫	27	
2-5 動物薬事行政 II	麻布大学 平山紀夫	27	
2-6 家畜保健衛生所の役割	愛知県 家畜保健衛生所 神谷俊樹	27	
2-7 家畜防疫員の責務	愛知県 家畜保健衛生所 神谷俊樹	27	
2-8 動物検疫所について	農林水産省 伊藤和夫	28	
2-9 動物検疫	農林水産省 伊藤和夫	28	
2-10 動物検疫所の獣医師の責務	農林水産省 伏見啓二	27	
3.食品安全			13
3-1 と畜場で防いでいる人獣共通感染症について	東京家政大学 森田幸雄	26	
3-2 と畜場HACCPについて	東京家政大学 森田幸雄	26	
3-3 食肉の対米・対EU輸出	東京家政大学 森田幸雄	26	
3-4 農場HACCPの概要	那須イーテイ研究所 西貝正彦	27	
3-5 農場HACCP認証審査について	那須イーテイ研究所 西貝正彦	27	
3-6 食品由来感染症の概要	国立医薬品食品衛生研究所 五十君静信	27	
3-7 野生鳥獣肉の衛生対策 (1)	日本大学 壁谷英則	28	
3-8 野生鳥獣肉の衛生対策 (2)	日本大学 壁谷英則	28	
3-9 HACCP運用指導の実際	株式会社高澤品質管理研究所 高澤秀行	29	
3-10 HACCPによる食品衛生管理	ロイドレジスタージャパン 今城敏	29	
3-11 マネジメントシステムと認証制度の概要	ロイドレジスタージャパン 今城敏	29	
3-12 食品安全と食品衛生	日本食品分析センター・北海道大学 一色賢司	29	
3-13 食品安全とフードチェーン対策	日本食品分析センター・北海道大学 一色賢司	29	
4.感染症防疫			7
4-1 人獣共通感染症と新しい獣医師の役割 I	千葉科学大学 吉川泰弘	26	
4-2 人獣共通感染症と新しい獣医師の役割 II	千葉科学大学 吉川泰弘	26	
4-3 アルボウイルス感染症	国立感染症研究所 高崎智彦	27	
4-4 家畜に分布する薬剤耐性菌の現状と対策	岐阜大学 浅井鉄夫	27	
4-5 動物に由来する薬剤耐性菌	岐阜大学 浅井鉄夫	28	
4-6 愛玩動物由来感染症	国立感染症研究所 今岡浩一	27	
4-7 狂犬病ウイルスについて	国立感染症研究所 井上智	28	

5.倫理・群管理・アニマルウェルフェア			9
5-1	小動物診療分野で期待する職業倫理 I	獣医療問題研究会 山村穂積	26
5-2	小動物診療分野で期待する職業倫理 II	獣医療問題研究会 山村穂積	26
5-3	災害時の動物マネージメント	環境省 田口本光	30 更新
5-4	農場のバイオセキュリティ Part1;動物疾病の現状と将来	株式会社スワイン・エクステンション&コンサルティング 大竹	28
5-5	農場のバイオセキュリティ Part2;バイオセキュリティの実践と成功	株式会社スワイン・エクステンション&コンサルティング 大竹	28
5-6	養豚管理獣医師の業務と役割 ~養豚場へのコンサルティング~	有限会社サミットベテリナリーサービス 石関紗代子	28
5-7	What is expected of the swine veterinarians(養豚開業獣医師に求められる)	Carthage Veterinary Service Clayton Johnson	29
5-8	Biosecurity of pig farms(養豚農家のバイオセキュリティ)	Carthage Veterinary Service Clayton Johnson	29
5-9	Animal welfare on pig farms(養豚場におけるアニマルウェルフェア)	Carthage Veterinary Service Clayton Johnson	29
6.畜産資材			8
6-1	動物用ワクチンについて	麻布大学 平山紀夫	26
6-2	ペットの食の安全確保 ペットフードの種類と市場	獣医療法食評価センター 藤井立哉	29 更新
6-3	ペットの食の安全確保 ペットフードの製造と品質管理	獣医療法食評価センター 藤井立哉	26
6-4	ペットの食の安全確保 小動物診療における犬と猫の食事療法	獣医療法食評価センター 藤井立哉	29
6-5	薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン	動物医薬品検査所 山本実	28
6-6	配合飼料の製造と品質管理 -牛用配合飼料を中心に-	雪印種苗株式会社 多田真一	28
6-7	飼料原料となる穀物の需給 (1)	関東グレーンターミナル株式会社 大盛浩典	28
6-8	飼料原料となる穀物の需給 (2)	関東グレーンターミナル株式会社 大盛浩典	28
7.獣疫学			5
7-1	はじめに	東京大学 杉浦勝明	27
7-2	牛白血病の疫学調査	動物衛生研究所 小林創太	27
7-3	生産現場のデータを用いた疫学研究	酪農学園大学 中田健	27
7-4	動物感染症とシミュレーションモデル	動物衛生研究所 山本健久	27
7-5	ペット保険データを用いた疫学研究	アニコム損害保険株式会社 井上舞	27
8.馬の臨床学			8
8-1	馬の臨床学総論	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 上野儀治	25
8-2	馬の構造特性	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 桑野睦敏	25
8-3	馬の臨床学総論と競馬におけるドーピング	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 上野儀治	25
8-4	馬の運動器疾患	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 笠嶋快周	25
8-5	馬の循環器・呼吸器疾患	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 大村 一	25
8-6	馬の消化器・眼科疾患	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 和田信也	25
8-7	臨床繁殖学・産科学	日本中央競馬会(JRA) 日高育成牧場 南保泰雄	25
8-8	馬感染症総論	日本中央競馬会(JRA) 競走馬総合研究所 奥河寿臣	25
9.国際獣疫事務局(OIE)アジア太平洋地域事務所			5
9-1	OIE入門-獣医学を志す学生のために-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-2	OIEの役割と活動(1)-動物疫病情報の収集提供-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-3	OIEの役割と活動(2)-国際基準の設定-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-4	OIEの役割と活動(3)-科学的ネットワーク-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-5	OIEの役割と活動(4)-各国・地域への支援-	OIEアジア太平洋地域代表 釘田博文	28
10.その他			5
10-1	家畜改良増殖目標について	農林水産省 菊池淳志	27
10-2	酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針について	農林水産省 鈴木恭人	27
10-3	アフリカ豚コレラ~養豚産業への世界的脅威~	サンチェス・ヴィスカイノ教授	27
10-4	The training of official veterinarians in France. I	Professor Marc ARTOIS	26
10-5	The training of official veterinarians in France. II	Professor Marc ARTOIS	26
76講義 (再収録 2講義を含む) + 10講義			86

実習プログラムフォーム（入力の手引き）

	ホームページへの対応	項目	摘要
		実習機関・自治体名称	ここではフォントは一律となります。フォント指定やロゴマークについては3または5欄に記入してください。
1	公開	キャッチフレーズ	目立つもの、学生の興味をひくものをお願いします。
2	公開	「獣医学生へのメッセージ」欄内容	実習生を募集する際に学生へアピールしたいこと、実習担当者からのメッセージとして、地域の魅力や実習プログラムの特徴を記入してください。基本的にご記入いただいたままの内容で掲載します。
3	公開 (任意)	トレードマーク、ロゴ、担当者の顔写真や実習をアピールする写真のご提供をお願いします	枚数と内容をご記入のうえ、画像データはメールで vpcamp@vetintern.jp にお送りください。添付するデータが複数ある場合は、どの欄に該当するデータか分かるように添付ファイルの名称を付けてください。1本のメール容量はメール全体で20MB程度にしてください。
4	公開 (任意)	実習機関・自治体や、実習施設のホームページのURL	掲載すると、閲覧への誘導になります。
5	公開 (任意)	実習をアピールするムービーやその他の特別なコンテンツがあればお知らせください	データファイルはメールで vpcamp@vetintern.jp にお送りください。容量等により掲載困難な場合はご相談します。
6	公開	実習日程(日数)	2月中旬～3月末／8月～9月末までの期間で、断続的でも土日祝日を含んでも構いません。できるだけ5日以上の設定にしてください。複数の日程を設定される場合は、日程ごとに1つのプログラムとしてシートを分けて作成してください。
7	公開	実施場所①名称と所在地 実施場所②名称と所在地 実施場所③名称と所在地 実施場所④名称と所在地 実施場所⑤名称と所在地 実施場所⑥名称と所在地	例：△△保健福祉事務所(△△保健所)：△△市材木町 1-2-6 複数施設での実習の場合、日程順に記入してください。見学のための施設で、職員が引率して下さる場合はここには記入不要です。記入フォームはそのままHP掲載データに変換しますので、記入欄が足りない場合や余った場合、行の挿入・削除はしないでください。欄が不足する場合は、フォーム提出の際、送信メール本文に記入しておいてください。
8	公開	実習開始日の集合日時場所	例：3月10日9:00に△△保険福祉事務所の正門にて集合
9	公開	実習場所までのアクセス方法	最寄り駅、バス路線名・行先、停留所名、下車からの徒歩経路等、わかりやすく示してください。ホームページに地図等があればURLを記入してください。
10	公開 (任意)	宿泊施設の案内	基本的に学生が自身で手配します。確保に困難がある等のヒントがあれば助かります。指定や提供する施設がある場合は記入してください。
11	公開	実習参加時の服装	サイト移動ごとに着替えが要る等の場合はお書きください。
12	公開	実習参加時の持ち物	白衣、長靴、タオル、聴診器、筆記用具等も指示してください。

13	公開	実習プログラム詳細	文章	<p>内容的にアドバンスプログラムとなる事項の頭に★を付けてください。記入フォームはそのまま HP 掲載データに変換しますので、フォームの行の挿入・削除はしないでください。1つのセルに複数の項目を記入する際は、「Alt+⇐キー」で改行してください。</p> <p>例： △△保健福祉事務所(△△保健所) ・食品衛生、動物愛護、狂犬病予防関係業務概要説明 ★食品製造施設 HACCP 指導帯同 ・動物の収容施設で収容動物の健康チェック帯同 等</p> <p>△△食肉衛生検査所 ・と畜検査業務概要説明 ・と畜検査現場帯同体験 ・検査室内検査(細菌、理化学、BSE等)体験 等</p> <p>動物愛護センター ・動物愛護業務概要説明 ・動物ふれあい体験 ・動物の飼養管理体験 ・動物の健康管理体験 等</p>
			1日目	場所 △△保健福祉事務所 午前 食品衛生関係業務概要説明 動物愛護・狂犬病予防関係 業務概要説明 午後 動物収容施設帯同 ★食品製造施設指導帯同
			2日目	場所 △△食肉衛生検査所 午前 と畜検査業務概要説明 検査室内検査体験(細菌検査、理化学検査、BSE 検査等) 午後 検査室内検査体験 (細菌検査、理化学検査、BSE 検査等)
			3日目	場所 △△食肉衛生検査所 午前 と畜検査現場体験 (生体検査、解体検査等) 午後 と畜検査現場体験 (生体検査、解体検査等)
			4日目	場所 動物愛護センター 午前 センター業務概要説明 動物の飼養管理 体験 午後 犬の行動学習とトレーニング体験
			5日目	場所 動物愛護センター 午前 動物の健康管理体験 午後 動物ふれあい(教室)体験
			6日目	場所 6日目以降もある場合は記入してください。フォームには10日分の欄を用意しましたが、足りない場合は、フォーム提出の際、11日目以降を送信メール本文に記入しておいてください。

14	公開	受入人数をお知らせください	プログラムの受入人数の上限を記入してください。
15	公開	実習の対象学年をお知らせください	実習内容や機関の意図に応じて設定してください。学部生は1～6年生、大学院生も対象にできます。
16	公開 (任意)	実習後にレポートを学生に課す場合はその課題をお知らせください	できるだけ具体的なテーマを与えてください。
17	公開 (任意)	必要な英語能力があればお知らせください	国際業務以外でも、実習施設の業務に外国語話者対応がある等、実習中に必要があれば記入してください。
18	公開 (任意)	必要履修科目があればお知らせください	実習内容を理解・達成するために、対象学年の指定とは別に、特定の科目が履修済みであることが条件になる場合は記入してください。
19	公開 (任意)	その他参加に必要な資格等があればお知らせください	共用試験の合格、アレルギー関係、動物の扱い慣れのレベル、実習施設まで自家用車等で通えること、等必要に応じて記入してください。
20	公開	実習生が視聴しておくべき事前講義プログラムを番号でお知らせください	事前講義リスト(p.25, 26)の題名左の番号(1-1～10-5)で記入してください。必須と推奨を分けても結構です。
21	公開 (任意)	実習生から実習機関への提出書類(誓約書など)があればお知らせください	貴機関に規定の書式がある場合は、ファイルをメールで vpcamp@vetintern.jp にお送りください。
22	非公開 情報 (任意)	事務局から実習機関への提出書類(覚書や依頼書など)があればお知らせください	覚書の書式は資料1(p.32)を基本としています。貴機関に規定の書式がある場合は、ファイルをメールで vpcamp@vetintern.jp にお送りください。
		事務局から実習機関に提出する覚書は、原則として実習機関の長とチーフコーディネータ間のものとなります。実習生の署名等を含めた形のものが必要な場合はお知らせください	実習機関の長・チーフコーディネータ・実習生の三者間の覚書となる場合は、実習生1名ごとに1通となります。ご承知おきください。
23	公開	実習生があらかじめ加入すべき傷害保険の種類(学生がケガをした場合の保障)	例: 「学生教育研究災害傷害保険」(JEES)もしくは「学生総合共済(生命共済)」(大学生協)もしくはこれらと同等のもの
24	公開	実習生があらかじめ加入すべき賠償責任保険の種類(学生が実習機関のものを壊したり、損害を加えた場合の保証)	例: 「学研災付帯賠償責任保険」(JEES)もしくは「学生賠償責任保険」(大学生協)もしくはこれらと同等のもの
25	非公開 情報 (任意)	実習生から緊急連絡先と保険加入証明書以外の提出を求める場合は、原則実習生と実習機関が直接やり取りをしてください。もし、直接のやり取りが不可能な場合は連絡方法をお知らせください	実習生の緊急連絡先・保険加入証明書(写)は事務局から欄のご担当者様にメールでご連絡します。それ以外の貴機関で要する提出書類の提出先が庁内他課等である場合、所在地・部課名・ご担当者名・メールアドレス等、提出に必要な事項をご指示ください。
26	公開 (任意)	公開してもよい問合せ先があればお知らせください	所名・ご担当者名・電話番号・メールアドレス等、任意です。公開すると、ホームページを見た学生から、実習についての問合せが寄せられることが想定されます。

27	非公開 情報	実習窓口の方のお名前①	VPcamp 事務局との連絡窓口になってくださるご担当者様をご記入ください。ホームページでは公開しません。
		担当課①	
		電話①	
		メールアドレス①	
		実習窓口の方のお名前②	
		担当課②	
		電話番号②	
		メールアドレス②	
28	非公開 情報 (任意)	選考の際の優先事項	非公開情報です。「県内出身者を優先する」「本県採用試験受験予定者を優先する」等の事項を記入してください。選考の際はこの優先事項に該当する応募者から選定します。「限定」条件としての設定は、できるだけご遠慮ください。
29	非公開 情報	事務局から実習機関へ供給を希望する消耗品(試薬、被服など)の有無	この欄に有無をご記入のうえ、内容は後日、別ファイル「消耗品希望」でご提出ください。(記入の際は p.31 参照)
30	非公開 情報 (任意)	その他(予備記入欄)	

消耗品提供について

実習に使用する消耗品の支給を行っています。支給を希望される場合は、「消耗品希望フォーム」に、希望施設ごとに必要な事項をご入力の上、VPcamp 事務局へお送り下さい。フォームの形式は以下の通りです。プログラム募集時にお知らせする、提出期日にご注意下さい。

参加学生数に応じ、予算を設定しております。すべてのご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

実習開始前までに、業者から納品させて頂く予定ですが、欠品等の事由により、実習後に入荷し次第補填させて頂く場合もございます。その際は、随時ご相談させて頂きます。

本事業の消耗品支給は、実習施設の負担軽減を趣旨に行うものであり、実習生へ便宜を図るものではありません。未使用の消耗品を実習生に持ち帰らせることはご遠慮下さい。また、残余の取扱いについては、実習機関にお任せ致します。

ご不明な点は、VPcamp 事務局までお問合せ下さい。

●消耗品をお送りする実習実施施設 (送付先が複数にわたる場合には、送付先ごとに別シートで作成してください)								
所在地	〒							
電話番号								
組織名								
部署名								
ご担当者様								
●希望する消耗品 (ピンクの品目は「希望」欄に○、緑の品目は数量と優先順位を記入してください。リスト以外のものはオレンジ色の欄に記入してください。メーカー等特に指定がないものや価格不明の場合は空欄で構いません。)								
希望	品名	メーカー	仕様	サイズ	単価	数量	価格 (自動計算)	備考
	白長靴			採用実習生用		人数分		
	白衣コート			採用実習生用		人数分		
	ケージー型白衣			採用実習生用		人数分		別仕様指定の場合は
	スクラブウェア			採用実習生用		人数分		オレンジ色の欄に
	スクラブパンツ			採用実習生用		人数分		優先順に記入して
	オールインワン (つなぎ)			採用実習生用		人数分		ください。
優先順位	品名	メーカー	仕様	サイズ	単価	数量	価格 (自動計算)	備考
	ラテックスグローブ			XS				別仕様指定の場合は
	ラテックスグローブ			S				オレンジ色の欄に
	ラテックスグローブ			M				優先順に記入して
	ラテックスグローブ			L				ください。
	不織布ディスプレイキャップ							
	使い捨てシューズカバー							
	タイベック防護服 (つなぎ)							
	不織布白衣							
	サージカルマスク							
優先順位	品名	メーカー	型番	仕様	単価	数量	単価×数量+税	備考
記入例	サルモネラ免疫血清 h-	デンカ	211538	5 m l	6000	1	6480	要クール便 (要冷蔵)
記入例	マスク			1箱50枚入り	650	1	702	汎用品可
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

消耗品について

資料 1

覚書(例)

〇〇〇〇における実習・インターンシッププログラムに関する覚書

〇〇〇〇と文部科学省「獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業 分野1 家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト教育プログラムの構築」チーフコーディネータ（以下「チーフコーディネータ」という。）は、別記名簿に記載されている学生（以下「学生」という。）が、〇〇〇〇において実習・インターンシッププログラム（以下「実習」という。）を行うことについて、下記のとおり覚書を締結する。

記

第1 実習実施に係る基本的役割等

〇〇〇〇は、別記のとおり学生を就業体験実習生として受け入れ、学生に対し必要な指導・助言を行う。チーフコーディネータは学生に対し、本覚書に定める事項を周知するとともに、円滑な実習を進めるため必要な指導及び監督を行う。

第2 実習時間、手当等の支給及び事故への対応等

- (1) 実習時間は、午前8時30分から午後5時まで（以下「定時」という。）とする。このうち午後0時から午後1時までを休憩時間とする。なお、定時以外にも若干の実習を行うことがある。
- (2) 〇〇〇〇は、実習中、学生に対し、通勤費（自宅及び滞在先より）、手当（日当）、食費及び旅費（滞在先までの往復旅費）を支給しない。
- (3) チーフコーディネータは、学生に傷害保険及び賠償責任保険に加入させ、学生が実習中において関係他者（〇〇〇〇、人物、財物等）に損害、損傷を与えた場合は、当該保険により補償する。

第3 実習中における遵守事項等

- (1) 学生は、実習に関して指導員の指示に従い、実習期間中は実習に専念し、公務の信用を傷つけ、又は公務員全体の不名誉となるような行為を行ってはならない。
- (2) 実習の欠務は、正当な事由による場合以外は認めない。やむを得ず欠務する場合は、事前に指導員に申し出て、その指示に従うこととする。正当な事由による場合であっても2日以上欠務した場合、〇〇〇〇は、実習を打ち切ることができることとする。
- (3) 学生は、〇〇〇〇における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く。）の開示については、指導員の指示に従わなければならない。実習終了後においても、同様とする。
- (4) 学生は、実習の成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に〇〇〇〇長の承認を受けなければならない。
- (5) 〇〇〇〇は、学生がこの覚書に従わない場合、その他実習を継続しがたい事由が生じた場合は実習を打ち切ることができる。〇〇〇〇は、実習を打ち切った場合は、速やかにチーフコーディネータにその旨を通知する。

第4 誓約書の提出

学生は、実習に先立ち、〇〇〇〇に対して誓約書を提出する。

第5 協議

本覚書に定めがない事項又は本覚書に疑義が生じた事項については、〇〇〇〇とチーフコーディネータが協議の上決定するものとする。

本覚書の締結を証するため、本書2通を作成し、〇〇〇〇及びチーフコーディネータが捺印の上それぞれ1通を保管するものとする。

平成 年 月 日

（日付は、空欄。当方において本覚書を受領した日付を記入し、貴職へ返送致します。）

〇〇〇〇長

〇〇〇〇 ㊞

文部科学省「獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業」
分野1 家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト教育プログラムの構築
チーフコーディネータ 杉浦勝明 ㊞

(別記名簿)

文部科学省 獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業 就業体験実習生

所属 (学年)	住所	氏名
〇〇大学 (〇年)		〇〇〇〇 (〇〇〇〇)

誓 約 書 (例)

資料 2

〇〇〇〇〇長 殿

〇〇〇〇〇においてインターンシッププログラムを受けるに当たり、〇〇〇就業体験実習実施要領等を理解し、実習生として下記のとおり遵守することを誓約します。

記

- 1 実習期間中は専ら所定の実習に従事し、実習目的の達成に努めること。
- 2 実習期間中は〇〇〇〇〇職員が遵守すべき法令及び規則を守るとともに、実習生としての活動について指導員の指導、監督等に従うこと。
- 3 実習期間中は、特定の政治政党、宗教、企業、団体の利益のための行為を行わないこと。
- 4 〇〇〇〇〇における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く。）の開示については、指導員の指示に従うこと。実習終了後においても、同様とすること。
- 5 実習の成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に〇〇〇〇〇長の承認を受けること。
- 6 病気等のため予定されていた実習を受けられない場合は、あらかじめ、指導員にその旨を連絡すること。やむを得ない場合は、事後速やかに指導員にその旨を連絡すること。

平成 年 月 日

大 学 名 学 生 氏 名 ㊟

個別評価書

(文部科学省 獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業)

参加者		所属	
実習先		実習期間	
評価者			

実習施設 01		実習施設 04	
実習施設 02		実習施設 05	
実習施設 03		実習施設 06	
その他			

事前講義 01		事前講義 03	
事前講義 02			
その他			

実習出席状況	出席 日 (遅刻 日/欠席 日/早退 日)		
受入機関のレポート課題		レポート評価	
VPcamp の実習日誌		日誌の評価	

実習には 規律正しい態度でのぞんだ		業務内容に 適応した行動がとれた	
業務内容を 的確に理解していた		目的意識をもって 意欲的に取り組んだ	

特記事項	
評価者コメント	

文部科学省 獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業

VPcamp 事務局 チーフコーディネータ

杉浦勝明

資料 4

VPcamp 日誌



氏名： _____ 大学名： _____ 学年(_____)

受入機関名： _____

第 日目	年 月 日 : ~ :
実習部門 (実習場所)	
実習指導者の 役職・氏名	
実習の テーマ・課題	
実習概要(実習した業務、手順、内容など)	
特記事項(学んだこと、反省点、明日の予定など)	

H30 年度スケジュール (予定)

	学生の動き							参加自治体の動き							事務局の動き																			
4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1			
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月				
	募集 関係機関との協議 / 夏の実習プログラムの作成・提出																				VPcamp実習の説明・依頼													
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
	関係機関との協議 / 夏の実習プログラムの作成・提出 締切																				VPcamp実習の説明・依頼							ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載						
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1			
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
	1次募集							1次 学生選考							2次募集							2次 学生選考							3次募集					
	実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備																																	
	選考結果通知 / 参加学生への連絡等 / ホームページへの実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																																	
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火			
	3次募集							3次 学生選考							実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備 / 学生への連絡																			
	選考結果通知 / 参加学生への連絡等 / ホームページへの実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																																	
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			
	VPcamp夏の実習 実施期間																																	
	実習準備 / 実習開催 / 実習後評価アンケートの提出																																	
	実習機関・参加学生への各種連絡など / 実習視察 / H30年度第1回コーディネータ会議 / 疫学会と共催のシンポジウム																																	
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1			
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
	VPcamp夏の実習 実施期間																																	
	実習準備 / 実習開催 / 実習後評価アンケートの提出																																	
	実習機関・参加学生への各種連絡など / 実習視察 / 協議会 / 公費共																																	
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			
	(実習後評価) / 関係機関との協議 / 春の実習プログラムの作成・提出																																	
	夏の実習の報告まとめ / 自治体等へ実習実施依頼 / ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																																	
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1			
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
	募集							関係機関との協議 / 春の実習プログラムの作成・提出																										
	自治体等へ実習実施依頼 / ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																																	
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
	春の実習プログラムの作成・提出 締切																1次募集																	
	実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備																																	
	ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																																	
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
	1次募集							1次 学生選考							2次募集							2次 学生選考							3次募集		3次 学生選考			
	実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備																																	
	選考結果通知 / 参加学生への連絡等 / ホームページへの実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																																	
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3			
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
	VPcamp春の実習 実施期間																																	
	実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備 / 実習開催 / 実習後評価アンケートの提出																																	
	選考結果通知 / 実習機関・参加学生への連絡/H30年度第2回コーディネータ会議																																	
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
	VPcamp春の実習 実施期間																																	
	実習準備 / 実習開催 / 実習後評価アンケートの提出																																	
	実習機関・参加学生への連絡 / 最終年度報告書作成 /																																	

スケジュール表

参考 1

平成 29 年度「獣医学アドバンス教育プログラム構築推進委託事業」 (募集要項より抜粋)

事業の趣旨

動物衛生と食品の安全性の確保は、国民の健康的な生活を守る上で極めて重要であり、家畜の生産、食品の生産・加工・流通・消費が多様化していることから、食品の安全を確保するため、より迅速かつ効果的にリスクを評価し、適切に管理する必要がある。このため、単に動物の健康や食の安全の確保にとどまらず、人の健康を保障する意味でも、国際的な防疫体制の強化は極めて重要な課題となっている。

これらを踏まえ、本事業は、国際水準の動物・畜産物の安全性確保に関わる即戦力となる獣医師を養成するため、獣医学生の専門的能力向上に向けた獣医学アドバンス教育プログラムを構築し、獣医学教育の高度化・国際水準化を図るとともに、農畜産業における国際競争力の強化に資することを目的とする。

事業の内容

教育機関と関係機関等(家畜保健衛生所、保健所、家畜診療所等)が連携し、家畜衛生・公衆衛生分野及び産業動物臨床分野における高度獣医療技術の習得を目的とした、先導的かつ実践的な教育プログラム(獣医サービスの構築、感染症管理、リスクベースの食品衛生等)を構築し、全国の獣医学系大学への成果の公表・普及を図ることにより、獣医学教育の高度化・国際水準化を推進する。

【分野 1】

家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンス教育プログラムの構築
(代表校： 東京大学)

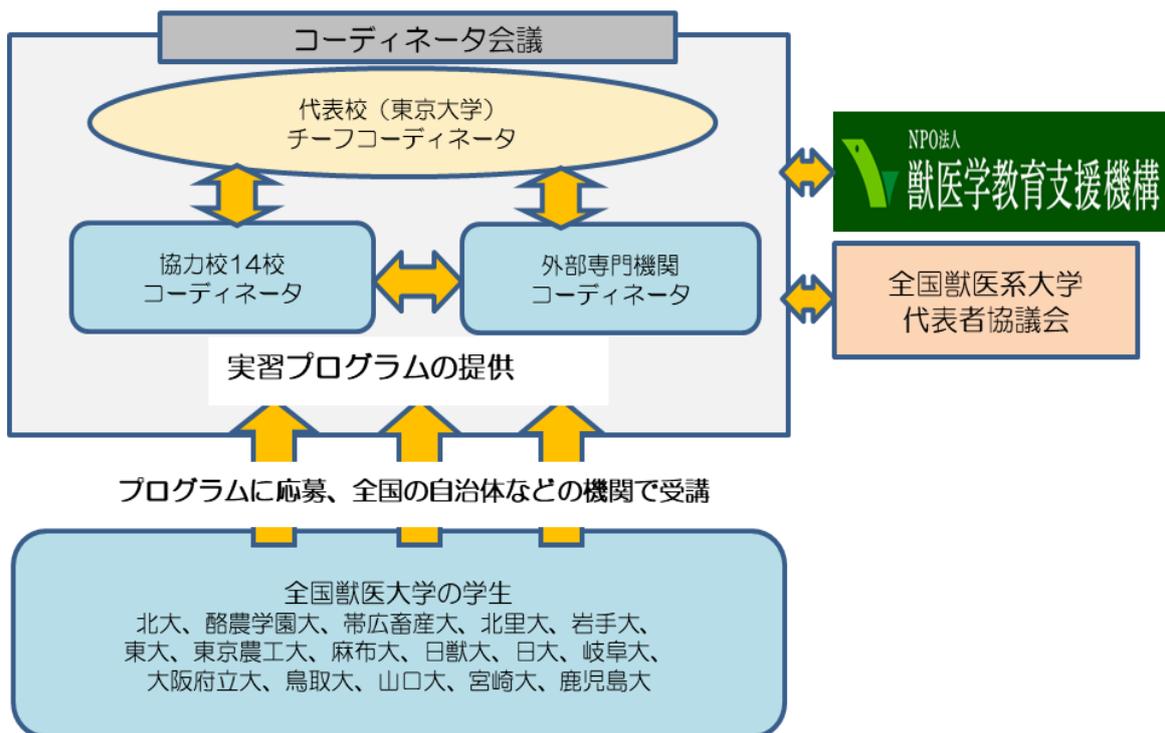
【分野 2】

産業動物臨床分野におけるアドバンス教育プログラムの構築
(代表校： 岐阜大学)

参考 2

実施体制

獣医学アドバンスト教育プログラム構築推進委託事業
【分野 1】 家畜衛生・公衆衛生分野における
アドバンスト教育プログラムの構築



参
考

【事務局】 東京大学大学院 農学生命科学研究科農学国際専攻国際動物資源科学研究室

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

Tel : 03-5841-5383

E-mail : vpcamp@vetintern.jp

参考 3

VPcamp コーディネーターリスト

	役割	所属	氏名	メールアドレス
1	チーフコーディネーター	東京大学	杉浦 勝明	aksugiur@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
2	コーディネーター	北海道大学	苅和 宏明	kariwa@vetmed.hokudai.ac.jp
3	コーディネーター	帯広畜産大学	廣井 豊子	tykhiro@obihiro.ac.jp
4	コーディネーター	岩手大学	村上 賢二	muraken@iwate-u.ac.jp
5	コーディネーター	岩手大学	寺嶋 淳	terajima@iwate-u.ac.jp
6	コーディネーター	岩手大学	彦野弘一	hhikono@iwate-u.ac.jp
7	コーディネーター	農工大学	白井 淳資	jshirai@cc.tuat.ac.jp
8	コーディネーター	農工大学	藤川 浩	fujik@cc.tuat.ac.jp
9	コーディネーター	農工大学	竹原 一明	takehara@cc.tuat.ac.jp
10	コーディネーター	東京大学	望月 学	amm@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
11	コーディネーター	東京大学	芳賀 猛	ahaga@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
12	コーディネーター	東京大学	平山 和宏	akazu@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
13	コーディネーター	東京大学	桑原 正貴	akuwam@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
14	コーディネーター	東京大学	西岡 真由美	amnishioka@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
15	コーディネーター	岐阜大学	伊藤 直人	naotoito@gifu-u.ac.jp
16	コーディネーター	鳥取大学	伊藤啓史	itoh@tottori-u.ac.jp
17	コーディネーター	山口大学	豊福 肇	toyofuku@yamaguchi-u.ac.jp
18	コーディネーター	鹿児島大学	中馬 猛久	chuma@vet.kagoshima-u.ac.jp
19	コーディネーター	宮崎大学	三澤 尚明	a0d901u@cc.miyazaki-u.ac.jp
20	コーディネーター	大阪府立大学	岡田 利也	okada@vet.osakafu-u.ac.jp
21	コーディネーター	酪農学園大学	樋口 豪紀	higuchi@rakuno.ac.jp
22	コーディネーター	北里大学	上野 俊治	ueno@vmass.kitasato-u.ac.jp
23	コーディネーター	日本大学	壁谷 英則	kabeya.hidenori@nihon-u.ac.jp
24	コーディネーター	日本獣医生命科学大学	落合 由嗣	yochiai@nvl.u.ac.jp
25	コーディネーター	麻布大学	河合一洋	kawai@azabu-u.ac.jp
26	コーディネーター	岡山理科大学	黒木 俊郎	t-kuroki@vet.ous.ac.jp
27	コーディネーター	全国公衆衛生獣医師協議会	中村 重信	Shigenobu_Nakamura@member.metro.tokyo.jp
28	コーディネーター	全国家畜衛生職員会	川嶋 和晴	kazuharu1_kawashima@pref.shizuoka.lg.jp
29	事務局補佐員	東京大学	川崎 麻衣	amkawasaki@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

VPcamp 事務局

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院 農学生命科学研究科

農学国際専攻 国際動物資源科学研究室

TEL 03-5841-5383 MAIL vpcamp@vetintern.jp

<http://www.vetintern.jp/>